

第26回自然系調査研究機関連絡会議 調査研究・活動事例発表会及び公開シンポジウム プログラム

日時：2023年11月3日（金・祝）9:30～17:00

場所：兵庫県立人と自然の博物館ホロンピアホール（兵庫県三田市弥生が丘6丁目）

【午前の部】自然系調査研究機関連絡会議 調査研究・活動事例発表会

9:15～ 開場・受付

9:25～ 諸連絡（視聴方法説明等）・WEB視聴開始

9:30～ 開会挨拶

●口頭発表 9:40～11:20

9:40～10:00 O-1 アイランドシティはばたき公園の人工湿地における環境DNAメタバーコーディング法に基づく鳥類調査手法の検討

更谷有哉¹、中島 淳¹、平川周作¹、石間妙子¹、香月 進¹、服部卓郎²（¹福岡県保健環境研究所、²NPO法人ふくおか湿地保全研究会）

10:00～10:20 O-2 田植え時期の違いおよび輪作の有無に応じた水生動物群集と指標種の抽出
安野翔（埼玉県環境科学国際センター）※

10:20～10:40 O-3 日本生物多様性観測ネットワーク（JBON）の活動紹介
西廣 淳、山野博哉（国立研究開発法人 国立環境研究所）

10:40～11:00 O-4 日本の絶滅危惧シダ植物の現状と保全における優先課題
海老原 淳、堤 千絵（国立科学博物館）

11:00～11:20 O-5 いきものログを活用した生物多様性情報の収集、提供について
浜田 拓¹、岡田美佳¹、武田治子¹、根上泰子²、井上 隆²、菅野貴久²（¹（株）地域環境計画、²環境省生物多様性センター）

※印のもののみオンライン形式での発表となります。

●ポスター発表 (コアタイム) 11:30~12:30

※ コアタイム以降は、シンポジウム終了の17:00まで掲示

- P-1 静岡県立磐田南高等学校旧蔵のトキの剥製標本
早川宗志・岡宮久規 (ふじのくに地球環境史ミュージアム)
- P-2 名古屋市におけるクビアカツヤカミキリの現状と防除について
加藤航大 (名古屋市環境局なごや生物多様性センター)
- P-3 愛媛県における特定希少野生動植物「ミズキンバイ」の保護管理
成松克史¹・原 有助¹、黒田啓太² (¹愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター、²元・愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター)
- P-4 樺野川河口干潟における住民参加による網袋を用いたアサリ保護活動について
元永直耕¹、梶原丈裕¹、木下友里恵¹、柿園博美² (¹山口県環境保健センター、²山口県環境生活部自然保護課)
- P-5 環境省生物多様性センターが実施する環境DNA調査に関する取組について
庄司亜香音、河合真美 (環境省生物多様性センター)
- P-6 人と自然の博物館における植物標本デジタル化促進技術の開発—撮影装置から植物標本ラベルデータ自動抽出法まで
高野温子 (兵庫県立大学自然・環境科学研究科/兵庫県立人と自然の博物館)
- P-7 博物館・市町村・ボランティア等の連携による県内植物相調査の取り組み
大津千晶・斎木健一・天野 誠・御巫由紀・山本伸子・西内李佳・浅野紗彩
(千葉県立中央博物館)
- P-8 兵庫県美方郡での耕作放棄地を活用した牛放牧の導入プロセス：自然科学と社会科学の統合知の創出を目指して
衛藤彬史・中濱直之・藤本真里 (兵庫県立人と自然の博物館)
- P-9 ボランティアと共同で行ったぐんま昆虫の森園内の蛾類相調査
金杉隆雄¹、筒井 学¹、神保智子¹、林 正樹²、小林栄一²、天谷初夫² (群馬県立ぐんま昆虫の森、ぐんま昆虫の森ボランティア)
- P-10 長野県環境保全研究所標本庫 (NAC) データベースの地域植物誌改訂への活用：県内標本情報との統合・利用
尾関雅章・荒井沙由理 (長野県環境保全研究所)
- P-11 Snapshot Global & Japan: 全球規模の野生動物カメラトラップ調査イニシアチブ
深澤圭太 (国立研究開発法人 国立環境研究所)
- P-12 千葉県レッドデータブック植物・菌類編2023年改訂版から見えたこと
下稲葉さやか (千葉県環境生活部 自然保護課 生物多様性センター)

P-13

名古屋市熱田区太夫堀の底生藍藻

福岡将之、大畑史江、岡村祐里子（名古屋市環境科学調査センター）

【午後の部】公開シンポジウム

「地域の生物多様性を守る・活かす新しい社会の仕組み

～ローカルの動きが世界を変える～」（14:00～17:00）

13:30～14:00 受付

14:00～14:05 開会挨拶

中瀬 勲（兵庫県立人と自然の博物館 館長）

14:05～14:45 基調講演「世界はどのように生物多様性の保全と持続可能な社会をつくろうとしているか？
生物多様性条約COP15、IPBESから分かること」

橋本 禪（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授）

14:45～15:15 講演「日本の生物多様性を未来につなぐ～新しい生物多様性国家戦略のポイント～」

福井俊介（環境省自然環境局自然環境計画課 生物多様性保全係長）

15:15～15:25 休憩

15:25～16:55 パネルディスカッション

「多様なステークホルダーをつないで身近な自然を守る・活かす

～OECDに期待されること～」

コーディネーター：三橋弘宗（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員/兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師）

パネリスト： 佐藤真行（神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授）

高橋啓介（環境省生物多様性センター センター長）

土田真奈見（エスベック株式会社サステナビリティ推進本部
環境管理部長）

兵藤未希（豊岡市コウノトリ共生課 コウノトリ共生係長）

松尾章史（NPO法人ホールアース自然学校 自然共生室長）

総括コメント： 橋本 禪（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授）

16:55～17:00 閉会挨拶

高橋啓介（環境省生物多様性センター センター長）

以上